

# 6 風水害の危険と備えについて

台風などの大雨や強風により、どのような危険があるのでしょうか。  
また、市町村から避難情報が発表された場合は、どのように行動すればよいのでしょうか。

## 調べてみよう

大雨により発生する被害を調べ、危険について考えましょう。

### 大雨による洪水



写真提供：宮城県河川課 塩竈市

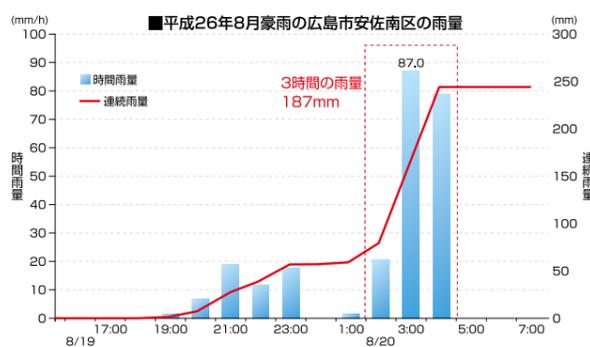
平成6年9月22日、発達した積乱雲の影響により、岩沼市から多賀城市にわたる仙台都市圏東部の低平地を中心に、雷をとまなう集中豪雨がおそい、総雨量は多賀城市で353ミリ、塩竈市でも194ミリになりました。

仙台空港は総雨量が515ミリになり空港施設の周囲は水没しました。

### 大雨による土砂災害



写真提供：国土地理院 広島市安佐南区



参考：国土交通省防砂部ホームページ「平成26年8月豪雨による広島県で発生した土砂災害への対応状況（2014年10月31日時点）」内の雨量推移図を加工して作成

## 防災知識

台風などの強風により、建物の屋根やビニールハウスなどが飛ばされることがあります。飛んできたもので、けがをするなどの危険があるので注意が必要です。

竜巻や急な突風も大きな被害をおよぼすことがあります。



写真提供：千葉県浅沼農園 台風の強風により倒れた鉄塔

## 知って おこう

### 災害に備える

大雨以外の警報の種類も知っておくといいね。



気象庁が発表する気象情報や特別警報・警報・注意報などの発表のタイミングや市町村が出す避難情報を知っておきましょう。

### 避難指示までに必ず避難

市町村からの避難情報発令前でも自らの判断で避難しましょう

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保※1
<警戒レベル4までに必ず避難!>			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難※2
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認する	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確認できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。また、警戒レベル相当情報(氾濫発生情報、土砂災害警戒情報など)が発表されたとしても、必ずしも同時刻に同じレベルの避難情報が発令されるものではありません。

※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

ハザードマップを確認し、自宅の災害リスクと、取るべき行動を確認しましょう。

「避難」とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。屋内で安全を確保することも考えられます。 ※屋内安全確保は「3つの条件」を満たす場合に検討する行動です。詳細は裏面を確認しましょう。

ハザードマップポータルサイト 検索

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません。

警戒レベル4避難指示までに自らの判断で危険な場所から全員避難しましょう。 ※避難勧告は廃止されました。(令和3年5月20日から)

避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、警戒レベル3高齢者等避難で危険な場所から避難しましょう。

内閣府(防災担当)・消防庁

参考：内閣府・消防庁

※避難情報が発表されるタイミングは、市町村によって異なり、上記は一般例です。  
※気象情報は、気象現象の経過や予想、防災上の注意点を解説するために発表しているものです。  
※大雨による河川の増水や氾濫の避難行動の参考になるよう、気象庁と河川管理者は、「氾濫注意情報」などを発表しています。

避難情報が発表された場合は、速やかに安全な場所に避難しましょう。  
気象情報などをこまめに手に入れ、外の様子に注意して、早めに避難しましょう。

被害にあってからではおそいね。  
避難してなにも起こらなくても、「なにもなくてよかった」と家族で思えるようになるといいね。

